

第15回（令和6年度）木工チャレンジコンテスト福岡県中学生大会

1 目的

生徒が中学校技術・家庭科の学習等を通して習得した知識や技能を発揮する場として、また木材を材料としたものづくりへの意欲を高め、ものづくり創造の夢を与える場として本大会を設ける。

2 主催 福岡県中学校技術・家庭科研究会

3 日時 令和6年8月23日（金）

4 参加資格 福岡県内の中学校に在籍する生徒で、在籍校の校長及び地区の技術・家庭科研究会長が参加を認めた生徒。

5 申し込み 各地区のものづくり担当を通じて、事務局担当へ申し込みください。
※申し込み締め切りは、令和6年 7月19日（金）。

6 競技内容 事前に事務局より提示された製作課題を、支給される材料を使い、以下に示す工具から必要な物を使用して、制限時間内（午前2時間、午後2時間、合計4時間）に製作すること。

(1) 製作課題 スリッパ立て（本研究会のHP参照）

(2) 支給される材料 杉板材（寸法：t15×W200×L900：数量2枚）と、
厚さ4mmの合板1枚（背板として使用）

(3) 使用可能な工具

【個人準備】 さしがね、けびき、両刃のこぎり、平かんな、直角定規、追入のみ、
四つ目ぎり、はたがね、げんのう、くぎ抜き（くぎ締めがついていないもの）、
C(G)クランプ、L(F)クランプ、削り台、筆記用具（鉛筆、赤鉛筆、消しゴム、
鉛筆削り）あて木、捨て板

※ 技術・家庭科教科書（現行学習指導要領準拠）の内容「A材料と加工の技術」に関わる部分に掲載されているものに限る。個数や形状の制限はなし。

【事務局準備】 木工用接着剤（酢酸ビニル樹脂エマルジョン）

紙やすり〔研磨紙〕（120番、240番）

ステンレス製丸くぎ（寸法：長さ38mm、胴部径2.15mm）

バケツ、箒、ちりとり

7 審査の観点

以下の(1)、(2)を審査の対象とする。

(1) 作業観察

- ① 安全に留意して作業を進めているか。
- ② 好ましい姿勢で工具を適切に使用しているか。
- ③ 作業台上や足元の整理整頓が定期的に行われているか。
- ④ 効率よく作業を行い、制限時間内に作品を完成させることができているか。

(2) 部材や作品の精度

- ① 部材の寸法が正確か。
- ② 接合部に目違いがなく、角度が正しいか。
- ③ 木材の性質を生かした作品であるか。
- ④ 表面がきれいに仕上がっているか。
(耳立ち、逆目ぼれ、端欠け、くぎの突出、打痕等)

8 その他

(1) 木取り図について

- ・木取り図は事前に準備し、持参すること。なお、用紙や形式は問わない。

(2) 作業台と支給される材料(杉板材)について

- ・作業台と材料(杉板材)は、受付で抽選を行い、その結果に従うこととする。
抽選の順番は受付を終えた生徒から順番に行う。なお、材料の交換は認めない。
- ・作業台は約1800×900の天板のものを、2人で使用する。
- ・作業台に備え付けの木工用万力は使用してもかまわない。

(3) 作業時間の超過について

- ・教育的な配慮として作業時間の超過を認める。
ただし大会の運営上、15分を超過した場合は、その時点で作品を提出することとする。

(4) 競技者への助言等について

- ・競技中、会場内での助言・助力は禁止行為とする。
- ・禁止行為を行った場合は、その選手の減点とする。

(5) 上靴(作業ができるもの)を準備すること。